

# 「生き残りをかけて『攻めの経営』へ！」

## 栃木県プロフェッショナル人材戦略拠点シンポジウム 抄録

栃木県と栃木県産業振興センターは3月2日、宇都宮市内で「プロフェッショナル人材戦略拠点シンポジウム」を開いた。テーマは「生き残りをかけて『攻めの経営』へ！」で、約120人が参加した。基調講演でモーハウス（茨城県つくば市）の光畑由佳代表は「働くママのビジネスインベーション」と題して起業の体験を披露。パネルディスカッション「我が社はどうして強くなる！〜強みと人材を活かして〜」では上陽工業、タスク、アルファテック、釜屋、ヨシ電子のトップが「攻めの経営報告書」づくりで得たことを語った。シンポジウムの抄録を特集する。

### パネルディスカッション

**我が社はこうして強くなる！**  
〜強みと人材を活かして〜

上陽工業（宇都宮市、建築鉄骨製造） 建築施工・建築鉄骨製造） ための情報発信力を身に付け、実践していきたい。 上野勝弘社長

タスク（栃木市、注射針製造・販売） 安全な製品づくりには安心できる就業環境が必要だ。現有勢力で強い組織をつくるため社内での融和に力を入れている。

川嶋幸雄社長 アルファテック（小山市、リフォーム&エクステリア事業）

望月俊彦社長 ある金属建材の塗装のヨシ電子（さくら市、レーザー加工、板金、塗装など） 安藤嘉浩専務

女性の活躍が、女性を問題解決担当に

社史や実績を学び、新規事業を進めるにしても、守るべきものは守る必要があることに気づかされた。経営の安定と将来の成長を図るには人材の確保が重要だ。お客さまの暮らし自体をデザインできる、創造的な人材を迎えたい。



上野勝弘社長



川嶋幸雄社長



望月俊彦社長



安藤嘉浩専務

課題に関する相談から始めた。自ら報告書を書いて、毎月1、2回、拠点の指導を受けた。創業社長である父と向き合い、危機に直面し苦労したからこそ全従業員を正社員化した経緯を知った。とにかく人を大切に教えられた。女性スタッフに顧客の問題解決担当を任せるなど、社員スキルアップを図っている。

### 優秀な技術者獲得へ

建築鉄骨製造とともに建設業を手がけており、そこが同業他社と差別化できる点だと気づかされた。創立から50周年の節目に策定した中期経営計画に報告書の内容を反映させた。高品質・短納期・低コストは当然として、典型的な3Kイメージから脱皮して優秀な技術者を獲得したい。その

### 製品こそが市場創る

業績数値以外で経営を判断するのはユニークだと感銘を受けて、自社の業界ポジションを確認するため報告書づくりを依頼した。失敗を重ねながら海外展開を図り「製品こそが市場を創造する」をモットーとしている。

### ICTで感動経営

釜屋（栃木市、うなぎ店・洋食店経営など） 高瀬淳社長

約150年続くうなぎ屋であることが当社最大の強み。ICTで感動経営を実現できた。おいしさの追求はもちろん、食を味わう空間全体でお客さまに満足いただき、感動をもたらしたいと考える。子育てしながら働く女性従業員が戦力。ICT（情報通信技術）活用でそれを補完しつつ、経営の見える化を進めている。



### 創造的人材で成長を



高瀬淳社長

### 拠点の概要紹介

栃木県プロフェッショナル人材戦略拠点  
森和男マネージャー

書」づくりを通じた支援を行っている。攻めの経営は、経営診断の対象である財務諸表や貸借対照表には表れない、企業の強みや魅力を確認することが先決。強みとは技術や技能、ノウハウ、組織力、人的つながり、知的財産などの「見えざる資産」。持つだけではだめで、有効な維持管理や強化、改善を組み合わせた。

### 働くママのビジネスインベーション

高い商品力で社会に寄与「女性の活躍」が叫ばれる昨今、子育て中の女性にとつての働き方の向上とは、働き方の多様化である。当社では、保育所やベビーシッターに預けるという選択肢以外に「子連れで働ける」とい

授乳期間中に外出する女性は周囲に気をつかう。そのわずらわしさを解消するため、肌を見せず、抱っこにしか見えない授乳服づくりを20年続けています。授乳服による負担軽減で子育て中のストレスが低減するというデータもある。

### 悩める企業に解決のヒント

当拠点は内閣府の地方創生の支援事業の一環で、地域中小企業を成長戦略に導くため中央の人材を地域につなぐのが目的。栃木県では15年12月に始動し、現在5人のスタッフで運営している。

報告書は拠点スタッフが計10時間以上、経営者にインタビューして作成。競争力の源泉が何かを整理する過程で経営者に気づきを促す。報告書は自社での活用はもちろん、金融機関の与信補助金申請、人材獲得にも活かせる。悩める企業に解決のヒントをもたらす。



モーハウス（茨城県つくば市）  
光畑 由佳 代表

2011年の東日本大震災や16年の熊本地震の被災地に授乳服を届ける活動も行うなど社会的な活動を行っている。そのような社会的な活動と、高い商品力、そして社会的信頼性の三つがわが社の「知的資産」だと確信している。

2011年の東日本大震災や16年の熊本地震の被災地に授乳服を届ける活動も行うなど社会的な活動を行っている。そのような社会的な活動と、高い商品力、そして社会的信頼性の三つがわが社の「知的資産」だと確信している。

報告書は拠点スタッフが計10時間以上、経営者にインタビューして作成。競争力の源泉が何かを整理する過程で経営者に気づきを促す。報告書は自社での活用はもちろん、金融機関の与信補助金申請、人材獲得にも活かせる。悩める企業に解決のヒントをもたらす。